

令和5年5月10日

Fukushima Ambassadors Program (FAP) XV 短期プログラム開催 ～ふくしまを世界に発信する友好大使^{アンバサダー}を英国の協定大学から招聘～

今回 15 回目の実施となる本プログラムは、福島大学の協定大学であるグラスゴー大学（英国）からの短期留学生 15 名が、福島大学に在学する学生約 30 名とともに約 2 週間の短期集中型プログラムに参加します。プログラムでは、被災地を含む県内各地でフィールドワークを行いながら、有識者による講話や、地域住民との交流、そして多様なバックグラウンドを持つ参加者同士のグループワーク等を行います。そしてそれらの活動を通して、参加学生は、復興過程にある FUKUSHIMA の過去、現在、そして未来の諸課題を多角的に捉え、世界に発信するスキルを育成します。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、2019 年を最後に本プログラムの実施が見送られてきましたが、今回 4 年ぶりにプログラムを開催します。

■本プログラムの特色

このプログラムは、世界中の学生が被災地の現状を知るための教育プログラムとして、2012 年 6 月にスタートしました。これまでに、9 か国 16 大学から留学生 209 人が参加し、延べ 650 人以上の日本人学生と共に、復興が進む被災地域の「光」と「影」を学び、理解を深めています。

■実施概要

実施期間：令和 5 年 5 月 25 日（木）～6 月 4 日（日）

招聘学生：英国 グラスゴー大学 15 名

学生ボランティア：約 30 名（福島大学生）

（お問い合わせ先）

国際交流センター 副センター長・准教授
マクマイケル・ウィリアム

電話：024-548-8443

メール：ryugaku@adb.fukushima-u.ac.jp